

J Aバンク自己改革への取り組み

【J Aバンク自己改革】

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② J Aが営農経済事業に全力投球できる環境整備
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献

◎ J Aバンクえひめ農業応援県域サポートの実践

農業融資の幅広い対応による金融仲介機能の発揮、農業振興および農業・地域の成長に資する県内J Aにおける取り組みの認知度向上を目指すため、令和4年度も引き続き、農業融資伸長のための助成措置や効果的なPRの展開、県内農畜産物の販路拡大のための情報提供、マスコミなどを活用した農業・地域の情報発信の取り組みに向けた「J Aバンクえひめ農業応援県域サポート」を策定し、農業者、地域を応援いたしました。

◎ J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会の設置

当会を含めた連合会・中央会が連携して、えひめ農業に対する県域応援態勢を一層強化するために、「J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会」を平成28年4月に設置いたしました。

今後も引き続き、積極的に農業の現場に向かい、県内J Aにおける営農振興の取り組みを支援してまいります。

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたオンライン対応を含む就農相談会（移住も含む）の開催、人材派遣会社などと連携した労働力確保支援など、関係機関と連携のうえ積極的に取り組みました。

◎ 地域密着型金融への取り組み

新たな食料・農業・農村基本計画の策定を受け、J Aグループをあげて農業の担い手支援に取り組んでいくなか、J Aバンクえひめとしても、県内J A・当会・農林中金が一体となり、「担い手のメインバンク」としての機能発揮を目指し、担い手金融の強化に積極的に取り組んでおります。

それぞれの役割分担としては、県内J Aは、認定農業者（農家）や集落営農組織・J A出資型農業法人等の担い手を中心に金融対応を行っております。また、当会・農林中金は、J Aの取り組みを支援するとともに、J Aの対応が困難な農業法人等の担い手に対し、直接融資またはJ Aとの協調融資などにより幅広く柔軟な金融対応に努めております。



● 地域農業の発展への取り組み

○ J A 農業おまかせ資金の活用

「組合員に分かりやすく、活用しやすい」をコンセプトに、平成28年6月から県内J A および当会で「J A 農業おまかせ資金」の取り扱いを開始し、農業者などの資金ニーズに適切に応えられるよう積極的に取り組んでおります。



○ 農業の夢・ヒアリング訪問の実施

J Aバンクえひめでは、令和4年9月～10月にかけて、担い手を中心とする『農業メイン強化先』を訪問し、農業に対する「夢」・「希望」・「将来のプラン」について対話をしながら聞き取りをする「農業の夢・ヒアリング訪問」を実施いたしました。

引き続き、対話から得た情報を基に、金融面・非金融面におけるサポートを行ってまいります。

○ J R 四国との「伊予灘ものがたり」おもてなし企画

J R 四国とJ Aバンクえひめを代表し当会は、観光誘客・交流人口の拡大や農産物・農産加工品等の情報発信・販路拡大に向けて連携し、相互に協力することを目的に包括協定を締結しております。

令和5年3月の1ヶ月間『「伊予灘ものがたり」おもてなし企画』を実施し、県内外の観光列車乗客に対し、県内農産物と県内農産物を紹介したパンフレットを配布いたしました。



○ 松山大学芳賀ゼミナールと産学連携

平成31年4月に、当会と松山大学経営学部経営学科芳賀ゼミナールは、農業者・農業法人などが抱える様々な課題を相互に連携協力して解決するために「協働事業書」を締結し、毎年テーマを選定のうえ協働事業に取り組んでおります。

令和4年度は、県内JAが運営する飲食施設の商品開発およびプロモーションの提案を研究課題に取り上げ、大学生の柔軟な発想やアイデアを生かした課題解決に向けた様々な提案がありました。



○ テレビ「元気！えひめ農業」放送による情報発信

JAバンクえひめでは、平成28年度から南海放送のテレビ番組「元気！えひめ農業」を制作し、農業応援にかかる積極的な情報発信に取り組んでおります。

令和元年度からは、次世代の「えひめ農業」を担う生産者・団体等にスポットを当てた番組内容に見直し、令和3年度からは、放送回数を年4回から年6回に増やして、県産農畜産物のPR、農業振興および農業・地域の成長に資するJAグループの取り組みを積極的に情報発信しております。

番組名『JAバンクえひめPresents「元気！えひめ農業～えひめ農業の未来を応援～」』



●担い手農業者の経営のライフステージに応じた支援

○各種農業資金、制度資金の提供

J A と連携・協調し、J A 農業おまかせ資金、農業近代化資金、農業近代化資金、新スーパー S 資金、日本政策金融公庫（農林水産事業）資金などの各種農業資金、制度資金などを貸出しております。

【主な制度資金など】

名 称	資 金 の 概 要
農業制度資金（愛媛県関係資金）	
農業近代化資金	農業の「担い手」の経営改善のため、低利で提供される長期の制度資金であります。施設の取得・拡張、設備・農機具購入、長期運転資金など幅広い資金調達をサポートしております。
農業経営改善促進資金（新スーパー S 資金）	「認定農業者」の農業経営に必要な運転資金のため、低利で提供される短期の制度資金であります。設定した借入枠の範囲内で何度でも借入れと返済ができ、効率的にご利用できます。
農業制度資金（日本政策金融公庫資金）	
農業経営基盤強化資金（スーパー L 資金）	「認定農業者」の経営改善のための長期資金であります。返済期間が15年を超える、資金規模が大きい、農地取得を含むなどの場合にご利用できます。
経営体育成強化資金	農業の「担い手」の経営改善のための長期資金であります。返済期間が15年を超える、資金規模が大きい、農地取得を含むなどの場合にご利用できます。
農業改良資金	農業の「担い手」の新作物分野・新技術へのチャレンジ、新たな加工・流通部門への進出など、高リスク農業への取り組み支援のため、無利子で提供される長期資金であります。
農林漁業セーフティネット資金	災害や経営環境の変化などにより経営状況が悪化した農林漁業者に対し、経営の維持安定に必要な資金を融通する資金であります。
青年等就農資金	認定新規就農者が青年等就農計画の達成に必要な経費のために、無利子で提供される長期の制度資金であります。
J A 独自資金	
J A 農業おまかせ資金	施設の取得・拡張、設備・農機具購入から長期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに低利かつ迅速に融通する J A バンクえひめ独自の資金であります。
アグリマイティー資金	施設の取得・拡張、設備・農機具購入から短期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに対応できる J A バンク独自の資金であります。
アグリスーパー資金	水田・畑作経営所得安定対策にかかる対象者の方のための農業経営に必要な運転資金ニーズに対応できる J A バンク独自の資金であります。
J A 農機ハウスローン	組合員の営農に必要な長期資金に利用でき、迅速な対応が可能な J A バンク独自の資金であります。
J A 新規就農応援資金	青年等就農資金などの制度資金の補完を行うことで、新規就農者の就農定着を支援する J A バンク独自の資金であります。
営農ローン	組合員の営農に必要な営農資金に利用でき、迅速な対応が可能な J A バンク独自の資金であります。設定した借入枠の範囲内で何度でも借入れと返済ができ、効率的にご利用できます。
当会独自資金	
信連アグリサポート資金	農業者（個人・法人）が行う農業生産および農産物の加工・流通・販売などに関する運転資金・設備資金を低利かつ迅速に融通する当会独自の資金であります。

（注）上記商品の詳細は、お近くの J A 窓口にお問合せください。

○ J Aバンクえひめ新型コロナウイルス対策資金の取り扱い

新型コロナウイルスの影響を受けている農業者に対して、必要な資金を円滑に融通することにより農業経営の安定化を支援することを目的に、令和2年3月から「J Aバンクえひめ新型コロナウイルス対策資金」の取り扱いを開始し、経営相談に適切に対応しております。

令和5年度についても期間を延長して取り扱うこととしております。

○ J Aバンクえひめ園地復旧支援資金の取り扱い

平成30年7月西日本豪雨の被災園地の再建に取り組む担い手農業者の資金ニーズに円滑に対応することにより、将来の不安解消を後押しするとともに、農業経営の安定化に寄与することを目的に、平成31年4月から「J Aバンクえひめ園地復旧支援資金」の取り扱いを開始し、災害復興支援に取り組んでおります。

○ J Aバンクえひめ農地整備事業サポート資金の取り扱い

担い手農業者への農地集積や新規就農者への農地の確保、更には高収益作物の生産および高品質化に向けて行政機関が取り組む農地整備事業に参入する担い手農業者の資金ニーズに円滑に対応し、農業経営の安定化、就農定着に寄与することを目的に、令和3年11月に「J Aバンクえひめ農地整備事業サポート資金」の取り扱いを開始し、行政と一体となって愛媛農業の振興に取り組んでおります。

○ J Aバンクえひめ原油・原材料等価格高騰対策資金の取り扱い

ウクライナ情勢の悪化に伴う原油・原材料などの価格高騰の影響を受けた農業者に対して、必要な資金を円滑に融通することにより、資金繰りや農業経営の安定化を支援することを目的に、「J Aバンクえひめ原油・原材料等価格高騰対策資金」を創設し、令和4年10月からの取り扱い開始し、令和5年度についても期間を延長して取り扱うこととしております。

○ 農業融資にかかる利子助成等支援

担い手農業者の経営支援を目的として、農業融資にかかるJ Aバンク利子補給（全国）、J Aバンクえひめ利子補給、J Aバンクえひめ保証料助成などを実施しております。

○ 相談対応支援

経営相談機能の強化の一環として、平成28年5月に「アグリウェブ」を本格的に開設し、ウェブ上での農業経営相談を可能といたしました。

アグリウェブは、農業経営に必要な基礎知識から押さえておくべき最新情報などを随時公開しており、経営全般、財務、税務、法務、労務管理、加工・販売、生産、お役立ち情報のテーマに分かれております。また、新機能として会員限定の経営診断などの機能を併せもっている農業に関わる全ての方の農業ポータルサイトであります。

The graphic is a promotional poster for 'AgriWeb' (アグリウェブ). At the top, it says 'AgriWeb アグリウェブ'. Below this, the text reads 'あなたの農業ビジネスをサポートするためのプラットフォーム' (A platform to support your agricultural business). A central message states: 'NEW コンテンツ 随時公開中! 農業ビジネスに必要な基礎知識から、押さえておくべき最新トレンド情報など随時公開中! 今さら聞けない悩みもアグリウェブが解決。農業に関わる全ての方の農業ポータルサイト。' (New content is being published as it becomes available! From basic knowledge necessary for agricultural business to the latest trends you should know, we solve the problems you've never asked about. It's an agriculture portal site for everyone involved in agriculture.)

The graphic features several icons: a rainbow, a sun, a smartphone displaying the website, a tractor, and a person. Below these are three main service areas:

- 農業経営に必要な情報を一元集約 (Centralized collection of necessary information for agricultural management)
- 事例をもとに成長につながるノウハウ公開 (Public release of know-how that leads to growth based on cases)
- 様々な分野のプロフェッショナルによるコンテンツ (Content provided by professionals in various fields)

At the bottom, it lists recommendations for different users:

- 持続的な成長を実現したい (Want to achieve sustainable growth): 組織の経営力強化を目指す方 (Those aiming to strengthen organizational management capabilities)
- 組織としてさらに飛躍したい (Want to leap further as an organization): さりなる収益力アップを目指す方 (Those aiming for significant profit improvement)
- 経営の基礎を固めたい (Want to solidify the basics of management): 安定的な事業運営を目指す方 (Those aiming for stable business operations)
- ビジネス領域を広げたい (Want to expand business areas): 新しい事業展開を検討中の方 (Those considering new business expansion)

The footer says 'produced by NORINCHUKIN'.